

大正十三年三月

東京市 政 改 善 の 要 訣

市 政 改 善 の 要 訣

東京市政改善の要訣

東京市

大正十一年一月

東京市政改善の要訣

松

嶋

剛

(一) 各區に於ける公共團體の改善

東京市政を改善せんとせば、先づ市會を改善せざるべからず、市會を改善せんとせば、市民先づ覺醒せざるべからずとは、方今の通論にして、因果の關係上當然の理論と申すべし、然れども人事は往々斯る單純なる理論のみを以て斷すべからざるものあり、愚考を以てすれば、東京市の現状に於ては、先づ各區に於ける公共團體を改造するに非されば、或は市會の改善を成就すること能はざるべしと思はる、蓋し市民が如何に覺醒したればとて、その多數の意見を纏め、之を發表し、之を主張し、之を實行すべき適當の機關あるにあられれば、即ち善良なる市會議員を選擧するがため、適當の機關を具備するにあられれば、市政上何等の效果あるべからず、然るに市

具辭せるに、あつちの市、市土同善の結果あるべしを。然るに市
とちの市、唯も善見なる市會議員が選舉せるのみ、適當の機關さ
ぬ、之を發表し、之を主張し、之を實行せしむべき適當の機關あるにあ
思はる。蓋し市另々取回し費難くすなり。その差違の意見が難
哉せるに非ざるなり。是れ市會の慈善を起振するところ詣りたるべし。
了を以て、東京市の財政に於て、式で各區の財政を公共團村を施
へ得る單據なる野篇の必要にして圖をへたところあり。愚考を以
論じし、因果の關聯上當然の野篇を申せし。然れども人事におき
會う慈善なかりたり。市另式で費難かちるべしを。式今の賑
東京市煙草慈善なかりたり。式で市會を慈善かちるべしを。市

東京市廻廻善の要病

民の大多數は如何、概して自家の業務に忙はしく、假令ひ市政に自覺する所あるも、自から斯る機關を構成し、又は之に關與するが如きは、到底不可能の事なるべし、又一方少數なる貴族や、資産家や文武の大官や、學者などの如き、財力或は時間に餘裕ある者は、多くは口舌に市政の現状を批判するも、自から進んでこれに關與せんとする者極めて少なき、その反對に各區には、從來既に一、二の國體存立せざるなく、市會議員の選舉はいふまでもなく、區會議員、府會議員、若くは國會議員の選舉や、その他學務委員を首め各種委員の推薦や選舉に執掌し、往々市區吏員の撰任にも容喙すること少からず、爲めにその勢力の及ぶ所深大にして、是れぞ即ち市政の現状を、二十有餘年間に溫醸し來りたるものなれば、組織的機關を有せざる烏合の多數市民は、到底之に對抗すること能はざるべし、故に市民多數の覺醒は勿論必要なれども、一面にはその覺醒に伴ひつゝ、各區に於ける公共團體を改善し、或は新に適當の團體を起し、以て多數市

開白あり、今や東京市が幸ひ了りて手刻、聖皇兼備の各市長は、
き改善の餘風永辭をへんとするところ、二十百餘年間、
のあつたところ、則ち心一和のする表面、
き即ちをるる同じく、市迎の財本、
改善の善く、世人の國、
るへく、
事さるるへる善き、
人迎の各區の公共團體の改善、
中央の（四）區の公共團體の改善、
さるる思ふところ、
るる高麗なる人士、
一和此の陳理の各士、
是の表、
警覺するところ、

たれば、我々市民たるものは、一致協力此好機を逸せずして、百弊の
源泉たる此根抵に向つて、一大斧鉞を加へざるべからずと思惟するな
り、而して愚見を以てすれば、此團體の改造なるものは、東京市に於
ては彼の政黨政派の改造の如く難事にあらずるは、前にも一言せるが
如し、思ふに上流乃至中流階級、即ち少數市民の、主として専有に屬
する、知識、才能、財力をして、此團體に加味せしむれば、即ちこれ
が改善の大半は、業に已に成就したるものにて、以て能く多數市民の
木鐸として、指導、誘掖の機關たることを得なければなり、去る明治
三十三、四年の頃、東京市に收賄事件の發生するや、市民の知識階級
は憤然として起ち、忽ち東京市公民會の設立成り、各區の有力者が卒
先、市政刷新を計りたる當時、各區に於て各々公共團體の改造に着手
し、吾人も亦之を赤坂區に試みんとて、同志と共に遂に赤坂俱樂部な
る新團體を組織せしが、此計畫幸に好成績を收め、區内の名士を網羅
し得て、爾後十數年の間、區内の大勢を統制し、由りて以て模範區た

選舉の烈しき、この醫ふ所を尋るべしといふ、金畫をさるゝといふ、
さるゝ、以て選に参り市選の自費ある、参選市員さるゝ、市選議員の
此前刺さる眼、若し各團體の選に参り、如るへく、選に参る手
の重ささるゝ、當然の事さるゝ、更にいふまでもさるゝといふ、吾人
孫市長の意、市吏員の腐敗を圖り、さるゝある、さるゝ市選の善

(正) 此に於ける市選議員の懸念

此、夫さるゝ不可なる事といふ、
選の善の一、千する此選の權、國人さるゝ善意の對峙と與ふる
業の關與する、一、良不適合さるゝの難論とある、いふさるゝ、市
の事、さるゝ困難さるゝ、さるゝ言する、更には市選の事
此選の、さるゝ此選の、孫市長の手、此選の、
さるゝ、吾人此選の、正人の言、
さるゝ、さるゝ、さるゝ、

ざれば、本年十一月の區會議員改選及來年六月の市會議員改選に際し
能く市區會改造の實績を擧ぐることを得べき歟、吾人は竊に疑懼の念
を禁ずること能はざるなり、勿論今より此短日月の間に此等の團體に
多年潜在せる、弊根を一掃することを得ざるは、言はずして明なれど
も、少くも今より此方面に向て應急の施設を講ずるの用意あらんこと
最も肝要ならんと信するなり、否らざれば新市長が本市のために傾注
せられつゝある好意も、或はその効果を一簣に缺くの悔あらんか、惟
ふに新市長の聰明なる、疾に此邊の消息に通せらるべきは、吾人の深
く信する所なれども、新市長が此難局を避けず、毅然として數十年來
の積弊に、一大斧を下されんとする、その勇魂、義魄に對し、吾人
の所信を披瀝するは、これ市民たるの義務なりと信じ、茲に鄙見を開
陳する所以なり、若し萬一當路の參考に資することを得は、幸之に過
くるものなし